

表 参考－6：A病院 一人当たり診療実日数

		H13.7	H14.7
全体	全体	2.1	2.0
一般・老人別	一般	2.0	2.0
	老人	2.1	2.0
診療科別	内科	1.6	1.5
	外科	1.9	2.0
	整形・形成外科	2.0	2.2

(7) 診療行為別総件数の変化

診療行為別の総件数は、平成14年7月は平成13年7月と比べ全体で7.5%の減となっているが、特に、手術・麻酔、注射、処置の減少幅が大きくなっている。一方、在宅医療は、11.6%の増となっている。

一般・老人の別でみると、一般が8.3%、老人が5.9%の減となっているが、特に、老人の投薬、注射の減少幅が大きくなっている。一方、一般の在宅医療は、15.3%の増となっている。

表 参考－7：A病院 診療行為別総件数

平成13年7月											
項目	合計(01外来)	初・再診料(01外来)	指導管理等(01外来)	在宅医療(01外来)	投薬(01外来)	注射(01外来)	処置(01外来)	手術・麻酔(01外来)	検査(01外来)	画像診断(01外来)	その他(01外来)
全体	61,377	14,340	784	129	2,817	1,883	1,128	414	20,120	3,399	16,363
一般	41,670	10,228	585	72	2,455	1,307	954	309	14,168	2,645	8,947
老人	19,707	4,112	199	57	362	576	174	105	5,952	754	7,416
小計	61,377	14,340	784	129	2,817	1,883	1,128	414	20,120	3,399	16,363
平成14年7月											
項目	合計(02外来)	初・再診料(02外来)	指導管理等(02外来)	在宅医療(02外来)	投薬(02外来)	注射(02外来)	処置(02外来)	手術・麻酔(02外来)	検査(02外来)	画像診断(02外来)	その他(02外来)
全体	56,781	12,908	820	144	2,477	1,527	962	294	19,973	3,623	14,053
一般	38,232	9,157	619	83	2,193	1,099	798	217	13,849	2,759	7,458
老人	18,549	3,751	201	61	284	428	164	77	6,124	864	6,595
小計	56,781	12,908	820	144	2,477	1,527	962	294	19,973	3,623	14,053
変化割合											
項目	合計(02外来)	初・再診料(02外来)	指導管理等(02外来)	在宅医療(02外来)	投薬(02外来)	注射(02外来)	処置(02外来)	手術・麻酔(02外来)	検査(02外来)	画像診断(02外来)	その他(02外来)
全体	-7.5	-10	4.6	11.6	-12.1	-18.9	-14.7	-29	-0.7	6.6	-14.1
一般	-8.3	-10.5	5.8	15.3	-10.7	-15.9	-16.4	-29.8	-2.3	4.3	-16.6
老人	-5.9	-8.8	1	7	-21.5	-25.7	-5.7	-26.7	2.9	14.6	-11.1
小計	-7.5	-10	4.6	11.6	-12.1	-18.9	-14.7	-29	-0.7	6.6	-14.1

2 B 病院

(1) 外来医療費の変化

外来総医療費は、平成 14 年 7 月は平成 13 年 7 月に比べ、23.8%の増となっている。

これを一般、老人別で見ると、一般については、44.2%の増、老人については、2.1%の減となっており、一般患者へのシフトが顕著となっている。特に 0 歳以上 20 歳未満が 275.5%の増、20 歳以上 40 歳未満では、70.4%の増となっている。

表 参考-8 : B 病院 外来総医療費 (千点)

		H13.7	H14.7	変化率(%)
全体		3,628	4,493	23.8
一般・老人別	一般	2,030	2,928	44.2
	老人	1,599	1,565	-2.1
年齢階層別	0歳～	74	277	275.5
	20歳～	281	478	70.4
	40歳～	834	1,027	23.2
	60歳～	737	1,030	39.7
	70歳～	1,028	1,046	1.7
	80歳～	675	635	-5.9

(2) 診療実日数の変化

外来診療の総実日数は、平成 14 年 7 月は平成 13 年 7 月に比べ、14.5%の増となっている。

これを、一般、老人別で見ると、一般については、21.7%の増、老人については、2.4%の増となっている。特に 0 歳以上 20 歳未満が 211.4%の増、20 歳以上 40 歳未満が 65.0%の増となっている。

表 参考-9 : B 病院 診療実日数

		H13.7	H14.7	変化率(%)
全体		5,603	6,418	14.5
一般・老人別	一般	3,523	4,288	21.7
	老人	2,080	2,130	2.4
年齢階層別	0歳～	167	520	211.4
	20歳～	428	706	65
	40歳～	1,456	1,484	1.9
	60歳～	1,378	1,474	7
	70歳～	1,322	1,424	7.7
	80歳～	852	810	-4.9

(3) 総件数

外来診療の総件数は、平成14年7月は平成13年7月に比べ、28.6%の増となっている。

これを、一般、老人別でみると、一般については、36.8%の増、老人については、11.1%の増となっている。特に0歳以上20歳未満が264.9%の増、20歳以上40歳未満が69.4%の増となっている。

表 参考-10：B病院 診療実日数

		H13.7	H14.7	変化率(%)
全体		2,870	3,692	28.6
一般・老人別	一般	1,958	2,679	36.8
	老人	912	1,013	11.1
年齢階層別	0歳～	111	405	264.9
	20歳～	281	476	69.4
	40歳～	787	893	13.5
	60歳～	704	817	16.1
	70歳～	617	711	15.2
	80歳～	370	390	5.4

(4) 一日当たり医療費

一日当たり医療費は、平成14年7月は平成13年7月に比べ、8.1%の増となっている。

これを、一般、老人別でみると、一般については、18.5%の増、老人については、4.4%の減となっている。40歳以上60歳未満が20.8%の増、60歳以上70歳未満が30.6%の増となっている。

表 参考-11：B病院 診療実日数

		H13.7	H14.7	変化率(%)
	全体	647.6	700.1	8.1
一般・老人別	一般	576.1	682.8	18.5
	老人	768.6	734.9	-4.4
年齢階層別	0歳～	441.6	532.5	20.6
	20歳～	655.6	677.3	3.3
	40歳～	572.7	692.1	20.8
	60歳～	534.9	698.9	30.6
	70歳～	777.9	734.7	-5.6
	80歳～	791.8	783.5	-1.1

(5) 一人当たり医療費

一人当たり医療費は、平成14年7月は平成13年7月に比べ、3.7%の減となっている。

これを、一般、老人別で見ると、一般については、5.4%の増、老人については、11.9%の減となっている。60歳以上70歳未満が20.4%の増となっている。

表 参考-12：B病院 一人当たり医療費（点）

		H13.7	H14.7	変化率(%)
	全体	1,264.3	1,217.0	-3.7
一般・老人別	一般	1,036.6	1,092.9	5.4
	老人	1,753.0	1,545.2	-11.9
年齢階層別	0歳～	664.5	683.7	2.9
	20歳～	998.5	1,004.5	0.6
	40歳～	1,059.6	1,150.1	8.5
	60歳～	1,047.1	1,260.9	20.4
	70歳～	1,666.8	1,471.5	-11.7
	80歳～	1,823.3	1,627.2	-10.8

(6) 一人当たり実診療日数

一人当たり実診療日数は、平成13年7月の2.0回から平成14年7月の1.7回に減となっている。

これを、一般、老人別で見ると、一般については、1.8回から1.6回への減、老人については、2.3回から2.1回への減となっている。0歳以上20歳未満、40歳以上60歳未満の減少幅が比較的大きくなっている。

表 参考-13：B病院 一人当たり実診療日数

		H13.7	H14.7
	全体	2.0	1.7
一般・老人別	一般	1.8	1.6
	老人	2.3	2.1
年齢階層別	0歳～	1.5	1.3
	20歳～	1.5	1.5
	40歳～	1.9	1.7
	60歳～	2.0	1.8
	70歳～	2.1	2.0
	80歳～	2.3	2.1

(7) 診療行為別医療費

診療行為別医療費についてみると、平成14年7月と平成13年7月を比較すると、初診・再診料、指導管理等、注射の増加、投薬、処置、手術・麻酔の減少が顕著となっている。

表 参考-14: B病院 診療行為別医療費 (点)

		H13.7	H14.7	変化率(%)
診療行為別	初・再診料	634	797	25.8
	指導管理等	1,146	1,292	12.8
	在宅医療	234	200	-14.5
	投薬	2	1	-55.2
	注射	225	387	71.6
	処置	4	2	-48.5
	手術・麻酔	2	0	-100
	検査	848	1,268	49.6
	画像診断	220	238	7.9
	その他	314	309	-1.6

これを一般・老人別にみると、一般の指導管理等、注射、検査の増加、投薬の減少、老人の投薬の増加、処置の減少が顕著である。

表 参考-15: B病院 診療行為別医療費 (一般・老人別)

		平成13年7月										
		全体	初・再診料	指導管理等	在宅医療	投薬	注射	処置	手術・麻酔	検査	画像診断	その他
一般・老人別	全体	3,628,426	633,830	1,145,786	233,550	2,444	225,466	3,721	1,993	847,678	220,118	313,840
	一般	2,029,731	472,458	199,461	89,620	2,381	184,944	2,098	0	686,816	115,852	276,101
	老人	1,598,695	161,372	946,325	143,930	63	40,522	1,623	1,993	160,862	104,266	37,739
	小計	3,628,426	633,830	1,145,786	233,550	2,444	225,466	3,721	1,993	847,678	220,118	313,840
		平成14年7月										
		全体	初・再診料	指導管理等	在宅医療	投薬	注射	処置	手術・麻酔	検査	画像診断	その他
一般・老人別	全体	4,493,138	797,265	1,291,948	199,710	1,096	386,995	1,916	0	1,267,865	237,535	308,808
	一般	2,927,869	630,174	388,624	84,890	910	335,129	1,346	0	1,065,578	151,706	269,512
	老人	1,565,269	167,091	903,324	114,820	186	51,866	570	0	202,287	85,829	39,296
	小計	4,493,138	797,265	1,291,948	199,710	1,096	386,995	1,916	0	1,267,865	237,535	308,808
		平成14年7月										
		全体	初・再診料	指導管理等	在宅医療	投薬	注射	処置	手術・麻酔	検査	画像診断	その他
一般・老人別	全体	23.8	25.8	12.8	-14.5	-55.2	71.6	-48.5	-100	49.6	7.9	-1.6
	一般	44.2	33.4	94.8	-5.3	-61.8	81.2	-35.8	-	55.1	30.9	-2.4
	老人	-2.1	3.5	-4.5	-20.2	195.2	28	-64.9	-100	25.8	-17.7	4.1
	小計	23.8	25.8	12.8	-14.5	-55.2	71.6	-48.5	-100	49.6	7.9	-1.6

3 C病院

(1) 外来医療費の変化

外来総医療費は、平成14年7月は平成13年7月に比べ、10.5%の減となっている。

これを一般、老人別で見ると、一般については、9.9%の減、老人については、11.6%の減となっている。60歳以上70歳未満では、16.1%の減、70歳以上80歳未満では18.1%の減となっている。

前述のA病院との比較の観点から、外科、整形外科、内科について診療科別にみる。外科が12.4%、整形外科が26.9%、内科が8.2%の減となっている。

表 参考-16：C病院 外来総医療費 (千点)

		H13.7	H14.7	変化率(%)
全体	全体	15,068	13,490	-10.5
一般・老人別	一般	9,982	8,992	-9.9
	老人	5,086	4,498	-11.6
診療科別	外科	1,673	1,466	-12.4
	整形外科	1,483	1,084	-26.9
	内科	4,074	3,740	-8.2
年齢階層別	0歳～	695	615	-11.5
	20歳～	2,048	1,788	-12.7
	40歳～	3,928	3,811	-3
	60歳～	3,311	2,778	-16.1
	70歳～	3,799	3,112	-18.1
	80歳～	1,287	1,385	7.6

(2) 診療実日数の変化

外来診療の総実日数は、平成14年7月は平成13年7月に比べ、12.1%の減となっている。

これを、一般、老人別で見ると、一般については、11.1%の減、老人については、14.5%の減となっている。60歳以上70歳未満では、14.3%の減、70歳以上80歳未満では18.3%の減となっている。

診療科別にみると、外科が7.8%、整形外科が21.2%、内科が10.4%の減となっている。

表 参考-17 : C病院 診療実日数 (日)

		H13.7	H14.7	変化率(%)
全体	全体	14,056	12,357	-12.1
一般・老人別	一般	9,968	8,863	-11.1
	老人	4,088	3,494	-14.5
診療科別	外科	2680	2471	-7.8
	整形外科	2074	1634	-21.2
	内科	5140	4608	-10.4
年齢階層別	0歳～	1,083	950	-12.3
	20歳～	2,383	2,139	-10.2
	40歳～	3,660	3,339	-8.8
	60歳～	2,842	2,435	-14.3
	70歳～	3,035	2,479	-18.3
	80歳～	1,053	1,015	-3.6

(3) 総件数

外来診療の総件数は、平成14年7月は平成13年7月に比べ、10.1%の減となっている。

これを、一般、老人別で見ると、一般については、10.4%の減、老人については、9.5%の減となっている。年齢別には、40歳以上60歳未満が12.0%の減、60歳以上70歳未満が11.7%の減となっている。

診療科別にみると、外科が14.0%、整形外科が10.3%、内科が8.8%の減となっている。

表 参考-18 : C病院 総件数 (人)

		H13.7	H14.7	変化率(%)
	全体	7,569	6,803	-10.1
一般・老人別	一般	5,305	4,753	-10.4
	老人	2,264	2,050	-9.5
診療科別	外科	1,254	1079	-14
	整形外科	862	773	-10.3
	内科	3,792	3460	-8.8
年齢階層別	0歳～	564	504	-10.6
	20歳～	1,298	1,215	-6.4
	40歳～	1,945	1,711	-12
	60歳～	1,498	1,323	-11.7
	70歳～	1,667	1,492	-10.5
	80歳～	597	558	-6.5

(4) 一日当たり医療費

一日当たり医療費は、平成14年7月は平成13年7月に比べ、1.8%の増となっている。

これを、一般、老人別で見ると、一般については、1.3%の増、老人については、3.5%の増となっている。年齢別には、20歳以上40歳未満が2.7%、60歳以上70歳未満が2.1%の減となっているのに対し、40歳以上60歳未満が6.4%、80歳以上が11.7%の増となっている。

診療科別にみると、外科が5.0%、整形外科が7.2%となっているのに対し、内科が2.4%の増となっている。

表 参考-19：C病院 一日当たり医療費（点）

		H13.7	H14.7	変化率(%)
	全体	1,072.0	1,091.7	1.8
一般・老人別	一般	1,001.4	1,014.5	1.3
	老人	1,244.1	1,287.3	3.5
診療科別	外科	624.3	593.1	-5
	整形外科	715.0	663.2	-7.2
	内科	792.6	811.7	2.4
年齢階層別	0歳～	641.8	647.2	0.8
	20歳～	859.6	836.1	-2.7
	40歳～	1,073.1	1,141.4	6.4
	60歳～	1,165.0	1,140.7	-2.1
	70歳～	1,251.6	1,255.5	0.3
	80歳～	1,222.5	1,365.0	11.7

(5) 一人当たり医療費

一人当たり医療費は、平成14年7月は平成13年7月に比べ、0.4%の減となっている。

これを、一般、老人別で見ると、一般については、0.5%の増、老人については、2.3%の減となっている。年齢別には、40歳以上60歳未満が10.3%、80歳以上が15.2%の増に対し、20歳以上40歳未満が6.7%、70歳以上80歳未満が8.5%の減となっている。

診療科別にみると、外科が1.8%、内科が0.6%の増となっているのに対し、整形外科が18.5%の減となっている。

表 参考-20 : C病院 一人当たり医療費

		H13.7	H14.7	変化率(%)
	全体	1,990.7	1,982.9	-0.4
一般・老人別	一般	1,881.6	1,891.8	0.5
	老人	2,246.4	2,194.1	-2.3
診療科別	外科	1,334.2	1,358.3	1.8
	整形外科	1,720.2	1,401.9	-18.5
	内科	1,074.3	1,081.0	0.6
年齢階層別	0歳～	1,232.3	1,219.8	-1
	20歳～	1,578.1	1,471.9	-6.7
	40歳～	2,019.3	2,227.4	10.3
	60歳～	2,210.3	2,099.5	-5
	70歳～	2,278.7	2,086.1	-8.5
	80歳～	2,156.2	2,482.9	15.2

(6) 一人当たり実診療日数

一人当たり実診療日数は、平成13年7月の1.9回から平成14年7月の1.8回に若干の減となっている。

これを、一般、老人別で見ると、一般については変化はなく、老人については、1.8回から1.7回への減となっている。年齢別には40歳以上60歳未満で増加している。

診療科別にみると、外科が2.1回から2.3回に増加しているのに対し、整形外科が2.4回から2.1回、内科が1.4回から1.3回への減少となっている。

表 参考-21 : C病院 一人当たり実診療日数

		H13.7	H14.7
	全体	1.9	1.8
一般・老人別	一般	1.9	1.9
	老人	1.8	1.7
診療科別	外科	2.1	2.3
	整形外科	2.4	2.1
	内科	1.4	1.3
年齢階層別	0歳～	1.9	1.9
	20歳～	1.8	1.8
	40歳～	1.9	2.0
	60歳～	1.9	1.8
	70歳～	1.8	1.7
	80歳～	1.8	1.8

資 料（アンケート調査票）

本アンケート調査票は、平成 14 年度厚生労働科学研究費補助金事業「病院の機能に応じた経営指標の開発に関する研究（主任研究者 医療経済研究機構 所長 宮澤健一）」におけるアンケート調査と共通の調査項目を含むものである。

本アンケート調査と関係のない質問項目は、以下のものである。

- 調査票 1 ページ 問 4
- 2 ページ 問 5、7、8
- 4 ページ 問 6、7

設問は全て法人全体ではなく、病院単位でお答えください。

【施設・人員などについて】

問 1 貴病院名および施設所在地（市町村までで結構です）を教えてください。

病院名 _____
所在地 _____

問 2 標ぼうする診療科目で該当するもの全てに○をつけてください。

- 1 内科 2 呼吸器科 3 消化器科（胃腸科） 4 循環器科 5 小児科
6 精神科 7 神経科 8 神経内科 9 心療内科 10 アレルギー科
11 リウマチ科 12 外科 13 整形外科 14 形成外科 15 美容外科
16 脳神経外科 17 呼吸器科 18 心臓血管外科 19 小児外科 20 産婦人科
21 産科 22 婦人科 23 眼科 24 耳鼻いんこう科 25 気管食道科
26 皮膚科 27 泌尿器科 28 性病科 29 こう門科 30 リハビリテーション科
31 放射線科 32 麻酔科 33 その他（ ）

問 3 平成 13 年と平成 14 年の許可病床数と平成 14 年の稼働病床数を教えてください。

	平成13年7月1日現在 許可病床数	平成14年7月1日現在 許可病床数	平成14年7月1日現在 稼働病床数
1 一般病床（その他病床（2～4を除く））	床	床	床
2 医療保険型療養病床（療養型病床群）	床	床	床
3 介護保険型療養病床（療養型病床群）	床	床	床
4 特例許可老人病床	床	床	床
5 精神病床	床	床	床
6 感染症病床	床	床	床
7 結核病床	床	床	床
合計	床	床	床

問 4 建物全部（管理部門*を除く）の延床面積/ベッド数をお答えください。

_____ m²

*院長室、事務室、応接室、会議室等その病院の職員が専ら使用し、患者が立ち入らない部門

問5 主な病棟の建築年はいつですか。主な病棟を増改築した場合は、増改築した年も併せて教えてください。

建築年 _____ 年

増改築年 _____ 年

問6 入退院調整担当者（例：ディスチャージナーズやソーシャルワーカーなど）は配置していますか。

- 1 入退院調整担当者がある 2 入退院調整担当者がいない

問7 看護配置（例 3：1 など）について、下表にご記入ください。

	看護配置		看護補助配置	
	平成13年7月	平成14年7月	平成13年7月	平成14年7月
一般病棟				
療養病棟				

問8 主な職員数について、下表にご記入ください。

職 種		従事者数				職 種		従事者数			
医 師	常 勤					理学療法士(PT)					
	非常勤 (常勤換算)					作業療法士(OT)					
保 健 師						薬 剤 師					
助産師						医療社会事業従事者 (例:ソーシャルワーカー)					
看護師						その他臨床従事者					
准看護師						事務職員					
看護業務補助者											

* 「常勤」は、原則、病院の全診療時間を通じて勤務する者を指します。「非常勤（常勤換算）」は、非常勤者の勤務時間を、常勤者の通常の勤務時間で換算してください。その他の職種は、常勤・非常勤（常勤換算）の合計をご記入ください。歯科医師は医師に含めてご記入ください。

問9 貴法人および関連法人それぞれにおいて、運営なさっている施設・サービスについて、該当するもの全てに○をつけて下さい。

	貴法人	関連法人		貴法人	関連法人
1 診療所			8 訪問介護		
2 老人保健施設			9 通所介護		
3 特別養護老人ホーム			10 デイケア		
4 訪問看護ステーション			11 在宅医療		
5 在宅介護支援センター			12 その他 ()		
6 ケアハウス (経費老人ホーム)			13 なし		
7 通所リハビリテーション					

【医療内容について】

以下は一般病床における診療報酬上の数値などについてお答え下さい。

問1 他医療機関からの紹介率（1ヶ月当り）はどの程度ですか。

平成13年7月	平成14年7月
%	%

問2 1日平均外来患者数を教えてください。

平成13年7月	平成14年7月
人	人

問3 外来入院比率を教えてください。

平成13年7月	平成14年7月

問4 平均在院日数を教えてください。

	平成13年7月	平成14年7月
一般病棟	日	日
療養病棟	日	日
精神病床	日	日
結核病床	日	日

問5 病床利用率を教えてください。

	平成13年7月	平成14年7月
一般病棟	%	%
療養病棟	%	%
精神病床	%	%
結核病床	%	%

問6 年間で手術数が最も多い手術は何ですか。全身麻酔、脊椎・硬膜外麻酔、それぞれで多いもの5つを、診療報酬区分上の術式名でお答えください。また、それぞれの件数もお答えください。

全身麻酔で多い手術

1. _____ () 件
2. _____ () 件
3. _____ () 件
4. _____ () 件
5. _____ () 件

脊椎・硬膜外麻酔で多い手術

1. _____ () 件
2. _____ () 件
3. _____ () 件
4. _____ () 件
5. _____ () 件

問7 貴病院で、得意とお考えになる手術は何ですか？5つ以内で、診療報酬区分上の術式名でお答えください。また、それぞれの件数もお答えください。特になければなしとお書きください。

1. _____ () 件
2. _____ () 件
3. _____ () 件
4. _____ () 件
5. _____ () 件

【診療報酬改定について】

14年度診療報酬改定への対応について教えてください。

I 再診料・外来診療料の見直しについて

問1 月4回目以降の受診に係る再診料、月2回目以降の受診に係る外来診療料の引下げへの対応として、どのような方針を立てられましたか。次のうち、該当するもの全てに○をつけて下さい。

1. 他の医療機関への患者紹介を行う。
2. 介護サービスの利用を勧める。
3. 通院の必要はないことを患者に説明する。
4. 投薬期間を延長する。
5. その他 ()
6. 特に方針は立てなかった。

問2 本年4月以降、月4回目以降の受診に係る再診料、月2回目以降の受診に係る外来診療料の算定回数は、それ以前と比べてどのように変化しましたか。次のうち、該当するもの一つに○をつけて下さい。

1. 50%以上減少した。
2. 25～50%の割合で減少した。
3. 10～25%の割合で減少した。
4. 10%未満の割合で減少した。
5. 変化はなかった。
6. 増えた。

II 長期投薬に係る規制の撤廃について

今回の診療報酬改定により長期投薬に係る規制が原則廃止されましたが、本年4月以降の投薬期間は、おおよそ平均して何日ですか。

全投薬と慢性疾患に係る投薬について、それぞれ、該当するもの一つに○をつけて下さい。

問3 全投薬の平均投与期間はおよそ何日ですか。

1. 14日以下
2. 15～21日以下
3. 22～30日以下
4. 31～60日以下
5. 61～90日以下
6. 91日以上

問4 慢性疾患に係る投薬の平均投与期間はおよそ何日ですか。

1. 14日以下
2. 15～21日以下
3. 22～30日以下
4. 31～60日以下
5. 61～90日以下
6. 91日以上

Ⅲ 後発医薬品について

問5 平成14年3月末時点と7月末時点の後発医薬品の採用割合（品目数ベース）をお答え下さい。

平成14年3月末時点： _____ %

// 7月末時点： _____ %

Ⅳ 再診に係る特定療養費制度の導入について

* 200床以上の許可病床を有する病院のみお答えください。

問6 本年4月以降、再診に係る特別料金の徴収を行っていますか。 次のうち、該当するものに○をつけて下さい。

1. 行っている。 → 問7以降の質問にお答え下さい。
2. 行っていない。 → 問9にお進み下さい。

問7 特別料金の額はいくらですか。具体的な金額をお答え下さい。

_____ 円

問8

① 本年4月以降、再診に係る特別料金を徴収した件数は何件ですか。おおよその件数で結構ですので、お答え下さい。

_____ 件

② そのうち、月2回目以降の再診の割合はおおよそどの位ですか。

_____ %

Ⅴ 一般病棟入院基本料の平均在院日数要件の見直しについて

問9 一般病棟入院基本料の平均在院日数要件の見直しに対応して、どのような方針を立てられましたか。 次のうち、該当するもの全てに○をつけて下さい。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. クリティカル・パスの導入・強化 | 6. 介護施設への入所促進 |
| 2. 手術前検査の効率化 | 7. 在宅介護サービスとの連携による退院促進 |
| 3. 退院計画の導入・強化 | 8. その他 () |
| 4. 療養病棟への転棟促進 | 9. 特に方針は立てなかった |
| 5. 他の医療機関への転院促進 | |

【財務内容について】

平成13年度の貴病院の財務内容について、都道府県知事に提出した数値をベースに個別の病院単位で以下の簡易版の財務諸表にご記入ください。介護老人保健施設等をお持ちの病院は、それら貴病院以外の施設に関わる費用および本部管理費などを除外してください。

また可能な場合は、貴病院の財務諸表のコピーを同封の返信用封筒でお送りいただけますようお願い致します。

損益計算書

単位：千円

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業収益合計		医業費用合計	
入院患者収益		給与費	
外来患者収益		医師給与費	
室料差額等収益		看護師給与費	
その他		OT・PT給与費	
		その他給与費	
		医薬品費	
		材料費	
		経 費	
医業外収益合計		委託費	
		減価償却費	
		その他の費用	
		医業外費用合計	

貸借対照表

(単位：千円)

資 産 勘 定		負 債 勘 定	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産		流動負債	
固定資産		固定負債	
土地		長期借入金	
建物		資本合計	
医療機器		資本金	
その他		資本剰余金	
		利益剰余金	
資産合計		負債・資本合計	

* 減価償却費累計額を教えてください。 _____ 千円

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

診療報酬改定の影響分析
報告書

平成15年3月

発行：財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構

(主任研究者 井原 辰雄)

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-5-7
永田町荒木ビル

TEL：03 (3506) 8529

FAX：03 (3506) 8528